

ブラインドのひもの安全性向上への取組について

日本ブラインド工業会

背景

海外では乳幼児がブラインド等のひものに絡んで事故になるケースが多発しているとの事例があり、国内のブラインドメーカー4社(立川ブラインド工業株式会社、東京ブラインド工業株式会社、トーソー株式会社、株式会社ニチベイ)で構成される「日本ブラインド工業会」では2005年4月からブラインド類・スクリーン類の操作コード(チェーン)事故防止に関する注意喚起を促すシール(図1)、または警告タグを住宅向け製品に表示すると共に、製品取扱説明書にも同様の内容を掲載することを申し合わせ、ブラインド類・スクリーン類等のひもに対する注意喚起に努めてきた。

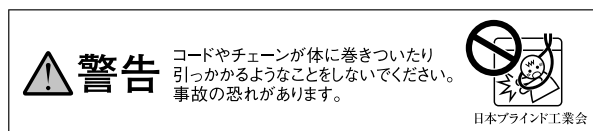


図1

また、ブラインド類・スクリーン類等のループ状の操作チェーンやコードを乳幼児の手の届かない位置に束ねる「コード留め具(クリップ)」(図2)や一定の力が掛かるとループ状態が分離する「解除ジョイント(セーフティジョイント)」(図3)、コードをポール等に固定するコードフックを製品に搭載するなど、具体的な対策部品を各社独自に実施してきた。

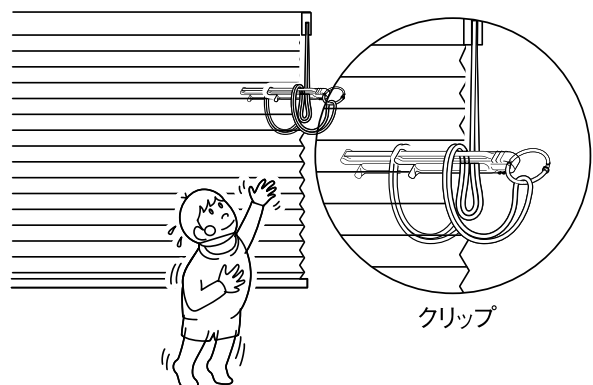


図2

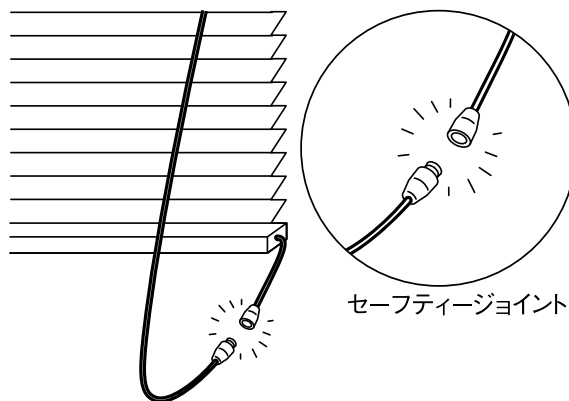


図3

一方、国内での事故事例は、2007年以降ブラインドのひもやコード、カーテンのひもやタッセルの事故が7件。うち1件は死亡事故に至り、重篤な事故につながる事がわかり、東京都商品等安全対策協議会では「ブラインド等のひもの安全対策」をテーマに取り上げ対応策を協議することとなった。2013年から3回にわたり協議会が開催され、日本ブラインド工業会でも生産者の立場から参画し、積極的な取りまとめに協力してきた。

同協議会では「ヒヤリ・ハット」に関するアンケートや、国内の事故の発生状況、日本ブラインド工業会が実施している注意喚起や安全対策の認知度、海外でのブラインド類のひもに対する安全基準の調査が行われ、2014年2月に、製造事業者団体、販売事業者団体、及び国、都、関連する団体に向けて今後取り組むべき事項について以下の4つの提言がなされた。

- ◇商品構造・デザイン等の安全対策の推進
- ◇統一基準等の策定による安全対策の徹底
- ◇消費者の安全意識の向上
- ◇事故情報等の収集と活用体制の整備

日本ブラインド工業会ではこれらの提言を受け、これまで各社の判断に委ねられた対応を、業界として統一する必要があるとの認識から自主的な基準作りと、消費者等に対し広く注意喚起促すとともに効果的な普及啓発に向け取り組みを開始することとした。

取組

2014年2月東京都からの「ブラインド等ひもの安全対策(提案・要望)」に基づき、2014年5月より加盟各社のホームページのトップ画面に日本ブラインド工業会のリンクバナーを配置し、そこから注意喚起のページにリンクできるようにした。また乳幼児の事故を防止することを目的に新たに「日本ブラインド工業会の実施基準」を制定し、2014年7月より実施している。

「日本ブラインド工業会の実施基準」概要

(1) 製品安全対策

- ・解除ジョイント(セーフティジョイント)の標準装備
生後6ヶ月の乳幼児の体重の5パーセント値※
58.8N(6.0kg)を規定値としてブラインド等にぶら下がった状態を想定し、解除力及び試験方法を設定。

※ 小さいほうから順番に並べ、5パーセント目に
あたる数値

対象製品：コード式操作の製品とする。

一般居住住宅での使用製品に適用し、
事務所・公共施設・店舗等、非居住住宅製品への適用は各社任意とする。

装備内容：製品状態で58.8N(6.0kg)の荷重でループ状態が解除される解除ジョイントをコードに装備する。

(2) 安全意識向上策

① 注意喚起文章

東京都の提案・要望をもとに、日本ブラインド工業会として注意喚起文章を統一し、以下5項目に対してホームページ・カタログ・取扱説明書等に注意喚起を行い、安全対策の周知を図っている。

② イラスト

2005年より事故防止表示を実施し、注意喚起を行っていたが、家具の配置について新規にイラストを制定し注意喚起を強化している。

警告

小さなお子さまがいるご家庭では、
ブラインドやスクリーンのコードや
チェーン類の近くにソファや
ベッドを置かないください。
ソファやベッドに上がれば手が届き、
事故の恐れがあります。



日本ブラインド工業会

2014年新規設定イラスト(事故防止表示例)

(3) 事故発生時連絡等と再発防止

法令により届出が必要な事故に関しては個別に消費者庁に報告を実施すると共に、日本ブラインド工業会事務局に連絡し情報を共有する。

また、法令による届出が必要ない事故情報に関しても日本ブラインド工業会事務局に連絡し、情報共有する。

共有された事故情報を基に製品開発に活用し安全性の向上等、再発防止に努める。

以上が実施基準の概要となるが、製品面においては2014年10月より主として家庭用のループ式ブラインド類のコードまたはチェーンに、それまではお客様に製品への取付け判断を委ねていたクリップを出荷段階で製品に取付けて順次出荷することとし、希望されるお客様に対してクリップの無償あるいは有償での提供を各社にて実施している。

また、製品面以外の活動として2013年8月に開催された「経済産業省子ども見学デー」に参加し、ブラインドのひもの存在を知って頂き親子で安全器具の体験を通じ理解を深めた他、2014年11月に東京都立産業技術センターにて開催された「セーフティグッズフェア

項 目	注意喚起文章
危険性の認知	コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
子供の特性	子供は思わぬ行動を取ります。大人の常識は通用しません。 子供をコードやチェーンで遊ばせないように注意してください。
家具の配置	小さなお子さまがいるご家庭では、ブラインドやスクリーンのコードやチェーン類の近くにソファやベッドを置かないください。 ソファやベッドに上がれば手が届き、事故の恐れがあります。
安全器具の説明	解除ジョイント(セーフティジョイント)
	子供の体重がかかると外れる部品です。
	コード留め具(クリップ)
	コードやチェーンを束ねる部品です。 子供の手の届かない位置で束ねることにより事故を防止する効果があります。
事故情報の提供	事故が起きたり、危険を感じたら製造メーカーにご連絡ください。事故の再発防止や安全性の向上のため情報提供をお願いします。

Withサイエンスアゴラ2014」でも安全対策商品や部品などを展示し、子どものいる家庭でも安心して使用できる商品を展示、紹介をおこなっている。

日本ブラインド工業会では今後も安全な商品の開発を推進するとともに注意喚起、啓蒙活動を積極的に実施していく考えである。

主な商品

「セーフティグッズフェア Withサイエンスアゴラ2014」展示内容

No.	品 名	数量	サイズ			備 考
			W	H	D	
1	展示台 1	1	638	1,910	500	トーソー(株)
	ロールスクリーン		530	740		コードなしを訴求
	プリーツスクリーン		530	740		セーフティジョイント、クリップを訴求
2	展示台 2	1	650	2,140	610	東京ブラインド工業(株)
	横型ブラインド		600	800		セーフティジョイントを訴求
	タテ型ブラインド		600	800		クリップを訴求
3	展示台 3	1	650	2,140	610	立川ブラインド工業(株)
	ロールスクリーン		600	700		クリップを訴求
	横型ブラインド		600	700		セーフティジョイントを訴求
4	展示台 4	1	690	1,770	500	(株)ニチベイ
	タテ型ブラインド		600	700		コードなしを訴求
	横型ブラインド		600	700		セーフティジョイントを訴求
5	安全啓蒙チラシ	1,000				日本ブラインド工業会発行
6	クリップ	150				



製品展示



クリップ及び安全啓蒙チラシ

● 会員企業一覧 ●

立川ブラインド工業株式会社

〒108-8334 東京都港区三田 3 丁目 1 番 12 号
TEL : 03-5484-6100(代表)
URL : <http://www.blind.co.jp/>

東京ブラインド工業株式会社

〒108-0072 東京都港区白金 3 丁目 9 番 15 号
東京ブラインド白金ビル
TEL : 03-3443-7771(代表)
URL : <http://www.tokyo-blinds.co.jp/>

トーソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 4 番 9 号
TEL : 03-3552-1211(代表)
URL : <http://www.toso.co.jp/>

株式会社ニチベイ

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3 丁目 15 番 4 号
TEL : 03-3272-0174(代表)
URL : <http://www.nichi-bei.co.jp/>

(50音順)